

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義を盛り込んだ事業所独自の理念を明文化して掲げ、実践に繋げていく。	3年目を迎えた今日、どの職員にとってもわかりやすい事業所の理念を掲げて、実践していく。	3ヶ月
4	3	運営推進会議を活かした取り組み	テーマや議題を決めて積極的な意見交換ができるような会議にしていく	積極的に意見交換できる会議を開催していく。いつも見守って頂いている、地域住民の方や家族さん方の参加もお願いしていき、日頃からも家族さんや地域の方々より意見を聞くようにしていく。	6ヶ月
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング	その人がその人らしく暮らせるように入居者の思いや家族さんの思いを良く聞き、個別的な介護計画を作成していく。	入居者一人一人に要望や悩み等を聞き取り、個性のある具体的な介護計画を作成しチームで取り組んでいく。	3ヶ月
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	フロアの表示等を見直し、入居者さんの尊厳について、誇りやプライバシーを損なわないように対応していく。	尊厳について、定期的に研修を行い、今一度ケアの原点に立ち返り、更なる向上を目指す。	3ヶ月
40	15	食事を楽しむ事のできる支援	今後も、オヤツ作り等一緒に準備して、安全に調理ができるように支援する。	立位等困難な人が多いが、メニューの確認や配膳など楽しんで食事ができるように向上を目指す。	3ヶ月
49	18	日常的な外出支援	その日の利用者さんの気持ちに沿って、戸外への外出支援や、その日の希望にそった個別の支援をして行く。	日常的な個別の支援をして、自分から外出したいと、思ってもらえるような支援をしていきます。	3ヶ月
52	19	居心地の良い共同空間づくり	和室等の活用を多くして、家庭の延長としての雰囲気づくりを行う。	利用者さんが落ち着いて過ごせるように、生活の場を考えた空間づくりをしていく。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。